

【回答例】

弊社ではこれまでアース口がない場合等のご質問に関し以下のとおりご回答させていただいております。

《前記質問Q1～Q3に対する回答》

弊社における、アース接続方法に関しましては、安全性並びにアーシング効果等の観点から原則として

- ①アース棒による大地への直接接地による方法、あるいは
- ②家庭用アースポート等のアース接続端子への接続による方法のいずれかをお願いしております。

とり分け大地への直接接地は、アーシング効果を高めるうえで最も効果的とされており、事情が許されるなら市販されているアース棒を使つての設置は、お勧めできる理想の方法でもあります。また、家庭内のアースコンセントの設置場所は、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、水洗トイレ等の近くにアースポートがあることが多いので、是非お確かめいただければ幸いです。こうした場合、少し面倒になりますがアースコードを延長させて直近のアースポートに接続していただくことをお勧めします。

アーシングのアースを利用される場合はこうした電化製品のアースを使用状態のままで混在させることは安全上あまり好ましいものとは申せませんので、アーシングご使用の際は出来るだけ電気機器アースを切断するなど、極力アーシングのアースとの混在使用は避けるようにご留意下さい。

次にアース接続端子の形状が違う場合ですが、大抵の場合は市販の変換アダプターがございますので、それらをご利用いただくことをお勧めします。

そこで、そのいずれにも適応しないケースで、アース接続端子が家庭等に無い場合が問題になります。やはり根本的解決方法としては、ご面倒でも電気工事を依頼してアース線を引き入れていただくことが望ましいと考えています。以上が弊社におけるアース接続に関する基本的な見解でございます。

しかしながら、それらの方法が事情によってどれも容易でない場合、中性線（コンセントのマイナス側）からアースをとる方法が考えられますが、弊社においては万が一の危険性を考慮しお奨めしておりません。それに加えて中性線でアースをとるとなると、コンセント口を検電テスター等で安全確認することは当然のことで、電気コンセントに直接操作することになります。ご本人に限らずやはりお子様やご家族など不慣れさや知識不足によってひとつ間違えば誤った操作によって大変危険なことになる可能性はゼロではないことを考えますと、どうしてもお奨めすることは出来ません。こうしたケースは自己の責任において個々のご判断にお任せする以外に方法はないと考えております。

念のため弊社においては、こうしたアース事情等を考慮し中性線使用時における万が一の漏電等による感電などのトラブルをも想定し、「アーシングシート」をはじめ弊社商品使用時において体内に流れる電流値を測定いたしましたところ、あくまで参考値ではございますが別紙（添付資料）の通りとなり、この値は仮に家屋配線内において漏電等のイレギュラーが生じたとしても、弊社アーシング商品使用時においては「感電による人体への危険はない」という数値的な結論を得ておりますので念のために付記させていただきます。

また、何らかの事情でアース棒からの接続もできない場合は、お家の中にある台所や水洗トイレ、お風呂場等に引き込まれている水道管がアースされているか否かをテスターで測り、アースされていれば直接水道管に銅線（アース線）を裸にして巻き付け、その先にアースコードの端子を繋いでいただくとそのままアースになります。是非試してみてください。

因みにアース棒や延長コード、及びアースコード接続に必要な中継コード線や接続端子など、必要な部品は弊社のwebショップ（ホームページ）でも殆ど取り揃えておりますので、一度ご覧になってみて下さい。

《Q4に対する回答》

弊社においては現在国内で使用されている主なアースポートの形状に合わせ、U字型端子と棒状端子の何れかが使用可能となるよう考案されています。

ご質問の小さな穴はアース口ですので、そこに棒型端子を接続していただくとOKです。U字型端子はそのままにしておいて問題ありません。